

14 年 金 制 度

(1) 国民年金

(令和2年度予算額 7,147千円)

高齢期における所得については、公的年金の占める割合がその大半を占めており、高齢化社会が進むことに伴い、公的年金の果たす役割が、ますます大きくなっています。

国の制度である国民年金業務においては、国や日本年金機構との協力・連携を推進し、市民の利便性の向上や制度周知に努めています。

○被保険者数の推移

(人)

	29年度	30年度	元年度
第1号被保険者	11,703	11,186	10,803
第3号被保険者	4,437	4,177	3,939
1号任意加入者	16	13	12
高齢任意加入者	62	68	63
合計	16,218	15,444	14,817

○年金受給の状況

	28年度		29年度		30年度	
	人員	金額(円)	人員	金額(円)	人員	金額(円)
老齢年金	1,502	701,534,681	1,253	586,588,863	1,044	491,314,431
通算老齢	795	167,583,531	697	146,409,247	600	125,145,374
老齢基礎	39,873	27,155,120,667	40,783	27,788,347,122	41,238	28,211,161,271
老齢年金計	42,170	28,024,238,879	42,733	28,521,345,232	42,882	28,827,621,076
障害基礎	2,474	2,134,962,600	2,468	2,121,178,650	2,475	2,120,550,975
障害年金	115	99,657,775	107	92,541,875	100	86,502,300
障害年金計	2,589	2,234,620,375	2,575	2,213,720,525	2,575	2,207,053,275
遺族基礎	280	215,760,800	274	211,490,009	254	195,383,441
寡婦年金	61	28,743,816	55	25,762,742	40	18,091,099
遺族年金計	341	244,504,616	329	237,252,751	294	213,474,540
老齢福祉年金	1	399,700	0	0	0	0
合計	45,101	30,503,763,570	45,637	30,972,318,508	45,751	31,248,148,891
死亡一時金	34	4,722,500	26	3,729,000	20	2,817,000